

第35号
 発行日:平成16年5月20日
 発行所
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062
 港区南青山3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
 1口 1,000円2口以上(年間)
 会計幹事:山根 伸之(64回)
 振込先
 みずほ信託銀行 本店
 普4782496 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成15年度 東京青山同窓会総会 報告

平成15年11月14日(金) 於:東京全日空ホテル 84回 星野紹英

「悲願のJ1昇格」をアルビレックス新潟が果たしたのは11月23日。今年の東京青山同窓総会は、その10日ほど前の11月14日、悲願達成に向けて一気にヒートアップする関係者の出席を得て開催された。この時点で野球流に言えば、2試合を残して「マジック勝ち点1」、1試合でも引き分ければ昇格決定という状況。翌日の対アビスパ福岡戦にも「決定の可能性」、というよりも関係者・サポーター一同は「当然決める」といった意気込みであり、総会当日はさしずめ「前夜祭」の様相。しかし、「悲願達成」の歓喜はアウェーの福岡ではなく、最終戦のホーム新潟での対大宮アルディージャ戦後まで待たなければならなかった。結果的には、ライバル川崎フロンターレが残り2試合とも勝利したため、アルビレックスにとってはギリギリの昇格決定。翌日の新聞には、メタク反町監督・池田社長らの写真が紙面を飾ったのだが、もしももしも「悲願またも…」などという結果になっていたら、私はこの文章をどんな風にか書いたらよいか分からなかったろう。改めてお祝いを述べさせてもらいま

す、おめでとう!
 <今年のテーマは『アルビレックス新潟』>
 さて、前置きは長くなったが、今年の青山同窓総会のテーマはズバリ「アルビレックス新潟」。会場は、最近恒例化したアークヒルズの全日空ホテル。会前半の「公式行事」では、栗林貞一東京青山同窓会長のあいさつをはじめ、今年から全体の青山同窓会会長に就任した長谷川義明前新潟市長のあいさつ、新潟高校の宮沢稔校長のあいさつなど、気もそぞろに上の空で聞く。(けしからんヤツ!!)
 そして、いよいよアトラクションタイム。アルビレックス新潟から出席の後援会事務局次長服部六郎常務と青山同窓の白川直人君(107回)が、前座代わりの(オツと失礼?)今シーズンのゴールシーンの編集ビデオをナビゲイト。メインイベントは何といてもJ1・J2を通して唯一というチアリーダー!それも東京地区での応援を専ら受け持つために新たに結成された初々しい6人娘の初舞台。クリスマスには杉良太郎がディナーショーをするという同じ舞台の上で、若さにハチ切れんばかりのピチピチ

初ステージをご披露。「母校110周年を振り返る」(一昨年)、「津軽三味線」(昨年)とともに最近のアトラクションは何れも感動ものであり、事務局のご尽力・お心配りに感謝感謝。

<二次会もアルビレックス>

全日空ホテルでの一次会に続き、二次会は赤坂の「日本海庄や」。実はこの社長がアルビレックス新潟の首都圏地区の後援会長。アルビレックスの池田社長も分単位の忙しいスケジュールの合間を縫って駆けつけ、またチアリーダーはじめ他のアルビレックスの関係者も多数参加し雰囲気は最高潮。あまりの興奮のためか、私は終電に接続する時間に店を出たはずなのに途中で電車を乗り間違えて、結局最後はタクシーで帰宅。

<来年も期待膨らむ>

ところで明日に羽ばたく若アユ6人娘のデビューに立ち会ったのは80人あまりか。これを多いと思うか、それとも少ないと考えるかはともかく、このような折角の機会をただ記事でのみ拝見というのはじつに勿体ないことだとは思いませんか。さらなる趣向溢れるアトラクションが期待される来年は、今年参加されなかった諸氏・諸君は是非、また今年参加した人たちはさらに同窓を少なくとも1人は引き連れて参加し、総会をますます盛り上げようではありませんか!!



新人を迎える

東京青山同窓会
会長 栗林 貞一(59回)

同窓会の皆さん今日は。お元氣でご活躍のことと思います。新潟高校を卒業して、新たにわが同窓会に入られる皆さんを迎える時期となりました。恒例の新人歓迎会・講演会は別項で案内していますが、今回は65回の湯川豊さんのお話を聞く予定です。湯川さんは文藝春秋に居られましたが、現在は東海大学の教授をなさっています。楽しく有意義なお話が聞けるものと期待しています。私は現在、東京南ロータリークラブの会長

もやっています。50年余の歴史と伝統を誇る名門クラブです。毎週1回昼食をしながら集まります。最近ロータリークラブと同窓会はどこか似通ったところがあると思うようになりました。会員は年齢が相当に離れた者も多く、職業も異なります。年齢、職業はばらばらでも会員はすべて平等対等です。それでいて、一体感があります。会員みんなの心が親睦を前提に、奉仕の理想に結びつけられているからなのでしょう。その中で個人としての尊敬、信頼は自然に育まれていきます。どうでしょう。同窓会とよく似てはいませんが。

お互い顔を合わせ、言葉を交わしてこそ、親密感が湧いてきます。一体感が生まれます。同窓意識は理屈ではありません。家族

兄弟のようなものです。そこから人生の大事なものが自然と生まれるのでしょう。

以前「with one」で集まろうと言いました。同期や友人を1人でも誘って同窓会に出席しましょう。そうすれば集まりの意義や楽しさもそれだけ大きくなる筈です。皆さん気楽に新人歓迎会に出席し、皆さんを慕って上京してきた後輩達を励まし、お祝いの美酒を酌み交わそうではありませんか。



田中一郎さんの「お別れ会」出席

46回 富所強哉

昨年10月6日夜にサンケイプラザで田中一郎さんの「お別れ会」があった。

新潟中学43回生の先輩には、先輩が東京青山同窓会の幹事長として尽瘁しておられた時に学年幹事に指名され、私の逆説的な乱暴な意見をたしなめられたことなど、いろいろ御指導を頂いたことを懐かしく思い出す。

先輩が母校から海軍兵学校(旧帝国海軍の将校養成機関、海兵と略)に進まれたとは聞いていたが、海軍大尉として終戦を迎えられるまで航空関係で奮戦され、戦後は報道や広告関係で御活躍、更には軍関係を中心とする良縁センターを開かれたなどのことを、散会時に頂いた先輩の遺稿集で初めて知った。

その中で先輩が戦時中徳島航空隊(徳空)と深いご縁があったことを知り、ご存命中にそれを知っていたら、いろいろとお話することができたのにと残念でならない。

今は徳島空港になっている徳空の従来の飛行場よりも安全な飛行場をとということで、徳島市から30キロほど西の市場町で進められていた飛行場の設営作業に、ごく短期間であるが私は従事していたのである。

当時は海兵などの軍関係の学校を出なくても、理工系出身者は数ヶ月の士官教育で大学卒はいきなり中尉に、専門学校卒は少尉に任官し、学校で学んだ知識を活かせるという制度があり、大学が工学部土木工学科だった私はホヤホヤの海軍技術中尉としてここでの設営隊の次席、しかも隊長が他と兼務で殆ど不在だったため、弱冠23才で四百数十名の隊の実質責任者に近い存在だったのである。

ところで終戦間もない8月21日に、ここでの中心部隊の徳空が「今夜半敵空挺隊着陸の恐あり」との誤伝と「搭乗員は飛行機で帰郷せよ」などの命令で大混乱の中で解散、私がたまたま出張で不在だったわが隊もその煽りで大混乱となり、帰隊後その収拾に大変苦労したという、ここは私には一年弱の海軍生活で最も強烈な思い出の地なのである。

徳空は第五航空艦隊(五航艦)に属する隊であり、この混乱を艦隊司令長官宇垣中将自らの、いわゆる玉音放送後の沖縄特攻による五航艦の混乱によるものと私は長らく考えてきたが、五航艦麾下で徳空の上部組織の第十二戦隊の参謀だった先輩の遺稿で、五航艦全体としては「搭乗員は……」の命令などで整然と解散したのであって、徳空の混乱は「今夜半……」による特殊のケースと理解したが如何であろうか。尚先輩は五航艦の副官を兼務しておられ、その最後の一人として処理を済ませた後で復員されたという。

栗林会長の添書同封の「お別れ会」案内の筆頭発起人が海兵同期の方だったことから察せられるようにこの会は海軍関係が中心で、閉会間際に海兵の校歌ともいべき「江田島健児の歌」が歌われたが、中学在学中に海兵に進み戦後復学した阿尻氏(55回卒)の主催者側との調整で、これに続いて我々は中学校校歌「玲瓏の天」を田中先輩に捧げることができた。その際栗林会長の趣旨説明に続いて私が音頭を取ることになったのは、以前に何年間か総会で音頭を取らされたことによるが、大多数が同窓以外の場での音頭は空前絶後のことで強い感慨を覚えたのであった。

更にこれには後日談がある。この会の少し前に海軍の教育時代の少数の仲間が集まりがあり前記の終戦時の混乱について話した際に、出席の教官からの

細部についての質問に十分に答えられなかったということがあったので、補足としてこの遺稿集にあった関連部分のコピーを送ったところ、教官は海兵で田中先輩の一期下でしかも同分隊という極めて親しい仲だった由で、私から田中先輩の名の出たことでの驚きの電話を頂き、世間は狭いものと語り合ったのであった。

田中先輩と教官と私の縁、いずれもたまたまの出会いに始まったものである。大きな出会いの場であるこの同窓会の更なる発展を祈って止まない。

田中先輩には只ただ御冥福をお祈り申し上げます。追記 田中先輩についてはご縁の深いどなたかが追悼記を書かれると思うが、以上は徳空との縁が偲ばれてのもの、ご諒承下さい。

平成14年度決算報告および15年度予算

収入の部		単位千円	
費目	14年度決算	15年度予算	備考
前年度繰越金	1,948	2,025	
年会費	1,903	1,950	1000名
総会会費	721	1,050	110名
新人歓迎会・講演会費	713	750	110名
協賛金	3	15	カード10件
本部補助金	500	500	
雑収入	4	10	
合計	5,792	6,300	

支出の部		単位千円	
費目	14年度決算	15年度予算	備考
総会	1,102	1,200	
新人歓迎会・講演会費	888	1,000	
事務局費	116	150	
会議費	96	150	
通信費	736	800	
印刷費	773	800	会報2回発行
振替手数料	56	60	
次年度繰越金	2,025	2,140	
合計	5,792	6,300	

注：H14年度 / 14.10.1～15.9.30 H15年度 / 15.10.1～16.9.30

64回同期会“歌声喫茶”懐かしのメロディーを合唱

世話人会事務局 坂井敬・川崎明

5月7日(土)、64回東京同期会を昨年に続いて開催し40名が集まった。去年より若干減ったものの、見込みどおりの盛会といっている。

わが期は昭和31年347名の同期生が巣立った。仕方ないことかもしれないが、ここ数年計報を耳にしない年はない。結局今年も渡邊司、西垣昭の両君が逝き、これまで在郷同期生も含め48名(13.8%)が亡くなった。

「元気なうちに毎年、顔を見せ合おうじゃないか」というのが、毎年開催の主要な動機

になったのも、自然の成り行きかもしれない。

しかし今回は、これまでにない画期的なアクションで、会は大いに盛り上がった。というのも、久しぶりに参加の五十嵐滋君が、シンセサイザーとアコーディオンを持ち込んでの“音楽の出前”を申し出てくれたからだ。

在学時代からピアノの腕前は知られていたが、まさか、コンピュータ・システムを専門とする大学教授が、「こんな女人はだしの演奏をするとは…」皆ビックリ。

そもそも我われ世代は“歌声喫茶”の全盛期に青春時代を過ごし、“歌声世代”といってもいい。「ともしび」「カチューシャ」「北帰行」などなど、ソロや合唱での“にわか歌声”の出現に、会場が大いに沸いたのも当然だ。

乾杯の前に、新高校歌を合唱できたのも伴奏があったからだが、中締めの新中校歌、応援歌の合唱では、シンセサイザーのリズム音源も力強く加わり、胸にジンとくるような響きになったことはいうまでもない。

会場は昨年同様東京全日空ホテル。今年リニューアル・オープンした37階のバンケットルームで、まことに素晴らしい見晴らしでは

あったが、青山同窓82回生・同ホテル販売部長清田甚君の配慮で楽器演奏と合唱ができたこと、乾杯のシャンパンを差し入れていただいたことを付記し、他期のご利用をお奨めしたい。

なお、五十嵐君の夫人・弘子さんは民主党公認の衆院選候補者。昨年の総選挙では党の都合で茨城6区から7区に国替えとなり惜しくも落選したが、昨今俄かに政局があわただしくなり、総選挙も近くなったようだ。応援したい。

レイロウカイ
「東京青山玲瓏会」

フェアウェイの同窓会がスタート

61回 村山健・金子章

ゴルフを楽しまれる会員の皆様へ
フェアウェイの同窓会(有志懇親ゴルフ会)

「東京青山玲瓏会」が発足します。

会の名は、栗林貞一会長にお付けいただきました。

従来、各期ごとに親睦ゴルフ会が盛んに行われており、この楽しい雰囲気を伝える記事が会報にとりあげられ報ぜられておりました。これを縦の関係に深め、ゴルフの楽しみを通じて先輩後輩との絆を更に深め、そしてこれが同窓会の活性化と結束につながるのではないかと考え、20余名の61期会のゴルフ会一同で準備世話会を発足しました。なにぶんにも不慣れで、予想もし難いことも多く、とにかく第一回を行って、各期の幹事の方々に加わっていただき、二回目からは、東京青山有志ゴルフ会事務局を設けたいと念願致しております。ご尽力いただける方、ゴルフの関係に詳しい方の幹事へのご参加を切望いたします。

既に、多くの他高校の校友会においても親

睦OG、OB同窓ゴルフ会が活発に行われており、私たちもこれに伍して楽しい会を持ちたいと思っております。

この会は、今後50回、100回と続いていくことを念願致し、そして記念すべき第1回発足会には是非大勢の「白球の魔力に魅せられた」同窓の皆様のご参加をお願い申し上げます。奥の深いゴルフを通じて、更に同窓の絆を深めようではありませんか。18ホールを共にすれば、18年間つきあった友と同じ友達が又一人増えるとも申します。フェアウェイの友人を増やし同窓の結束を図ろうではありませんか。是非、ご参加下さい。

日 時: 16年9月17日(金)

場 所: 平塚富士見カントリークラブ
神奈川県足柄上郡中井町井ノ口
TEL.0463-71-0771概 要: 平塚コース/乗用カート利用
9:36amスタート/Wペリア方式
参加費: 検討中につき、後日ご案内いたします。
(割引ブレイク費+aの予定)交 通: 東名高速秦野中井ICより4.4キロ
小田急線秦野駅、東海道線二宮駅
よりクラブバス有り

◎お申し込みは、名前/住所/〒/TEL

/FAX/メールアドレス/卒業年度(期)/およびそのハンデを記入してお申し込みください。
申し込みメ切◇7月20日(火)まで
(各期のおよその人数だけでも出来るだけ早くお知らせください。)

人数早期確定を要するため早めのメ切ですがお願いします。

お一人参加も歓迎ですが、期ごとに組み合わせ作成しての申し込みも可能です(各期の幹事の方、取り纏めを宜しく願いいたします)。初回でもあり組み合わせはなるべく各期ごとに致たく思います。

ご参加の方には後日詳しいご案内をさしあげます。

※各学年をとりまとめて下さる方、或いは事務局へご参加いただける方は、「偶数月第二火曜日の会」(次回6月8日)日本海庄や(赤坂店)pm7:00~へおいで下さるか、村山健宛に連絡をお願いします。

申し込み問い合わせ先
村山健(61期)
fax & tel 045-573-2362
金子章(61期)
kanesho3927@hkg.odn.ne.jp

第82回 卒業30周年記念同窓会を盛大に開催！

～併催の各イベントも大成功～

82回 早福 弘

雲一つない五月晴れに恵まれた連休さなかの5月2日、82回の卒業30周年記念同窓会が新潟市で開催されました。

前景気を煽ろうと企画した古町「喜ぐち」での前夜祭に約20人が参加。大いに盛り上がり、まずは順調なスタートを切りました。

本番の翌日は、午後からの「新潟高校校舎見学」と、同期生3人を講師に仕立てた「恩返し」の講演に、恩師7人(石黒、上杉、小田、上村、柴野、葉草、山岸(50音順)の各先生方)を含む約50人が集まりました。今もって「真新しい」イメージの校舎を一回りして、我々の頃の校舎とのあまりの違い、立派さに「ほお～」とただただ「ため息」の旧友も目立ちました。特に、講演会場となった視聴覚室は、一学年(400人)がまるまる入る大規模な階段教室で、充実したAV機器や大スクリーンと相まって、「豪華ミニシアター」とも言うべき素晴らしい造りで、皆が大いに驚かされました。

講演では、日下部(旧姓小島)朋子さん(有)J-CLUB代表取締役(東京青山同窓会事務局長)、寺田員人君(新潟大学医歯学総合病院助教授)、渡辺健一君(新潟県醸造試験場長)の3人が、それぞれ「カブキ者・バサラな道行」、「笑顔と歯の不思議な関係」、「新潟のお酒」の演題で、前出のAV機器をフルに活用。各人が、卒業後30年間培ってきたキャリアを感じさせる、興味深くそして分かりやすい話をしてくれました。1

人わずか30分の持ち時間でしたが、参加の旧友はもちろん恩師からも大変高い評価を頂戴しました。

その後、栗原道平君が社長を務める信濃川ウォーターシャトルのアナスタシア号で、夕闇迫る信濃川を1時間余りクルーズ。船内では、恩師を含む約70人が31年前の懐かしい青陵祭のカラービデオ(吉岡浩君(父上が撮影)提供)とビールやソフトドリンクを堪能し、メインパーティに向けて、雰囲気はいやが応にも盛り上がったのでした。

やがて船はオープン(4月27日)間もない新潟市歴史博物館前に横付けされ、皆は隣接するパーティ会場の旧第四銀行住吉町支店(が衣替えした)「レストラン バンクシダ」へと歩を進めました。

会場では、恩師16人(既出の他、飯塚、池田、石崎、沢田、関根、立川、奈良、本田、渡辺(50音順)の各先生方)を含め、過去最多の総勢約120人が参集。船中と同じビデオが流れる中、駒井早苗さん司会の下、小林しほり実行委員長のあいさつ、渡辺精也先生の祝辞・乾杯で賑やかにパーティーが始まりました。会場は歴史を感じさせる重厚で落ち着いた雰囲気、吹き抜けの高い天井による開放感も参加者に好評でした。また、メニューは、県外から駆けつける旧友に配慮して「新潟の旬を感じてもらえる料理」に徹底的にこだわり、JA岩船幹部である佐藤度

君の尽力で、減多に口にできない「村上牛のステーキ」(これがウマイ!)も御賞味いただくことができました。

宴の半ばで、16人の恩師から一人ずつお話しいただきましたが、それぞれ30年前を彷彿とさせるお話しぶり、教え子一同大変懐かしく、また嬉しく承りました。そして、お開き近くには、名応援団長吉岡浩君のリードで、病をおして参加くださった関根先生にエールを送るとともに、一同、「ますらお」をあらん限りの声で歌い上げ、福田勝之君の「まずは7年後に。そして最後の一人になるまで、この同窓会を続けよう!」との力強い三本締めで、あっという間に過ぎた(3時間!)大宴会にピリオドを打ちました。その後の2次会場(ホテルオークラ)への移動も、タクシーならば20台は要りそうな人数が再びアナスタシア号に乗り込み、美しくライトアップされた万代橋を目指して水上をトランジット。みなとびあから万代橋西詰めの船着場まで、わずか10分の川渡り。夜景を堪能した2次会の後も、3次会、4次会と流れた強者もいたという熱い1日となりました。

最後に、新潟高校でのイベントに際し御協力いただいた小林校長先生、吉原教頭先生、阿部先生と、この同窓会の準備から始末まで3ヶ月余りにわたり強力なアシストをいただいた同窓会事務局の外山さんに厚くお礼申し上げて、御報告といたします。



第65回 一木会 ～その様子とご案内～

65回 山本和親

実は、本文を書いている自分自身がまだ出席の機会を持っていないのだが、昨年暮に青山65期幹事の大橋修一兄から頂戴したメールでの案内の要旨を披露させて頂きたい。

3年ほど前の同窓会二次会の席で、元G組の木滑孝一兄が「毎月1回日時場所を決めて集まれる者だけ参加する会を開いてはどうか」と提案し実現したのがこの会で、毎月第一木曜日に集まることから「一木会」と称することになった。

場所は種々の事情で当初は一定しなかつ

たが、一昨年四月からは新潟市万代の「四川飯店」に固定している。因みに一昨年は延べ150人、昨年は157人で平均一回13人の出席となっている。今までの最小人数は9人(一昨年8および12月、昨年10月)、最多は17人(昨年2月)で、常連もいるがたまには遠方からのクラスメートの参加もあり、学校時代や社会に出てからの嬉しかった話や失敗談などその時はとても話せなかったようなひそひそ話、ゴルフの自慢や健康の話など様々な話題で賑やかに盛り上がり、懐かしい顔との出会いをお互いに楽しんでいる。

出席の申し込みなどは不要、いつでも出られる時、気が向いたときにぶらっと出席することで構わないそうで、首都圏在住の我々も、出張や一時帰郷などの際日程の調整ができれば是非にと誘われている。

我々第65期は、入学直前の校舎消失後仮校舎での二部授業の苦勞などもあり同期の連帯感が強く、また地元有志の貢献等で5年毎の同期会の定期的開催や新潟高校全体の同窓会出席者も毎年上位三位以内を占め賞品に二次会用「越の寒梅」を授与されるなど仲良くやっている。仲間入りしたい方、さらに詳しい様子を知りたい方は是非大橋兄に連絡願いたい。

連絡先

大橋修一 (65回)

電話：025-268-5680 (Fax兼用)

IP電話：050-1053-5680

E-mail：shuoha4@yahoo.co.jp

TOPICS

2002年春の新人歓迎会においてご講演いただいた寺尾正大(68回)先輩のご活躍が活写された書籍が出版されましたので、ご紹介いたします。

警視庁元捜査一課長時代に手がけたオウム事件の書き出しが寺尾氏で始まっています。事件の捜査にあたった多くの捜査員の証言とともに、彼がこの事件にどう対応したか、詳しく書かれています。また寺尾氏の講演の中でも紹介されていた「地下鉄サリン」で被害にあった学年幹事の鈴木裕徳君の経験も

書かれており、事件記者が書いた文章だけに迫力ある一書になっています。

書店、版元などにお尋ねください。

情報提供：68回・重野康人

「捜査一課秘録

オウムとの死闘、凶悪犯逮捕の舞台裏」

発行元

光文社

著者

三沢明彦

(読売新聞社会部デスク)

定価

1,600円

住所リスト出カサービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやりたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、連絡先を書き添えて事務局宛FAXをお送りください。

FAX. 03-3423-1692 (日下部・82回)

- 住所リスト1学年/3000円
- 宛名ラベル1学年/4000円

事務局よりお知らせ

同窓会カードをお持ちの方へ

—カードのデザインが変わります—

提携先のジーシー(株)・カード事業部が、GEコンシューマーファイナンス(株)に営業譲渡されるに伴い、カード面のデザインがGEカードのデザインに統一されます。

なお、当同窓会年会費の自動引き落としは従来通りです。

偶数月第二火曜日の会

平成16年度の予定

6/8・10/12・12/14 (兼・忘年会)

日本海庄や(赤坂店)7時～
港区赤坂3-13-7 Tel:03-3586-5003

場所も時間も定例です。
ご自由にご参加ください。

■計報■

今期事務局にお知らせいただいた方々です。

笠原直三 (32回)	倉田資孝 (49回)
山内康平 (36回)	斎藤 勝 (53回)
石井 嵩 (42回)	櫛谷全一 (59回)
樽 寛 (42回)	前田周作 (62回)
武石和風 (44回)	藤井靖浩 (71回)
中村 寛 (45回)	三浦純一郎 (101回)

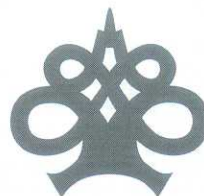
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらぬ「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の新人歓迎会の受付までお申し出下さいませ。

【すでに同窓会カードをお持ちの会員様へ】 年会費自動引き落としのお知らせ

平成15年度(平成15年10/1～平成16年9/30とします)同窓会年会費(2000円)を平成15年10/26頃ご指定の口座よりお引き落としさせていただきます。



一筆啓上

～H15年度の総会への出欠はがきと会費振込用紙に添えられた主な近況です。～

32回・曾我 英彦
昭和3年頃の初期の同期の集まりを思い出しています。小生、今99才新潟市美術館で2ヶ月近い「曾我英彦展」をやり附添い2人連れて故郷の地を踏んできました。同級の坂口安吾のことなども取材されて帰京しました。今のところ出欠は定められませんが、出席して皆様と祝杯をあげたいですね。

37回・會 純道
父は現在入院中です。糖尿により両目失明となり、口から食物を摂ることができず、各種の管につなかれ寝たきり状態です。年末には91才になりますが苦しまずに死を迎えられることのみを願っております。(娘 記)

38回・高橋洪三
高齢の為、目も遠く遠方へは行けないので欠席させて頂きます。

40回・小山賢市
当日、目下リハビリ中。皆様の御健壯と御盛會を念じます。

41回・伊藤一雄
腰が悪く歩きにくいので自転車でアチコチへ出掛けて運動。ミニゴルフも何とか1回づつやっています。

41回・五十嵐富郎
長兄も末弟もすでに逝き、辛うじて生き永らえている小輩も次弟(44回)ともに青山同窓会会員です。しかし寄る年波で健康とは言えず、ただ古きよき時代を懐かしむだけです。

41回・浅田鋪一
主婦の友事業株式会社取締役総務部長を退職してから二十五年になります。退職後、海外へ8回出張してきました。

42回・塩谷正雄
最近体力、感覚機能ともに低下し活字も新聞の大きいものしか読めず、外出もままならない状態です。青山同窓会(東京)との関係は今限りしたいと思います。

46回・小熊幸男
健康第一と元気で、46回の皆とは文通はありますが仲々会うことも出来ません。御盛會をお祈り致します。

46回・浜田敏衛
主人(敏衛)は平成10年頃より残念な、身体具合悪く、ずっと療養中でございます。何卒皆様にお伝え下さいませ(妻・良子)

49回・濱 博世
出席を楽しみにしています。

50回・寺田秀夫
幸いに健康に恵まれ、細々と診療・執筆・研修医の指導をやっています。

51回・石塚誠也
何とか元気でやっています。

52回・渡辺達郎
会場が不便です。他の場所の検討をお願いします。風聖一如

53回・岩原 昭
自治会と老人クラブの役員として地域の住民を対象に福祉活動と環境美化の運動を進めています。

53回・盛山淑郎
今夏新潟の総会に出席したが、同期の出席者は少なく、残念だった。

55回・阿尻威吾
数年前から心臓機能が低下しており、夜間の外出は控えています。盛會を祈ります。

56回・松井昭五
東京青山同窓会の御発展を希望いたします。私共の56回分は昭和18年より23年の間在学し、戦中戦後の激変の時代を経験しました。

56回・井上菊雄
当日京都でシンポジウムがあり、残念ながら出席できません。

56回・指宿 毅
病氣療養中です。

56回・飯島昌弥
お陰さまで元気に過ごしております。

56回・三崎正一
体調不良にて欠席させていただきます。

58回・佐藤 悟
御盛會をお祈り申し上げます。58期の東京玲瓏会は10月17日に開催され盛會でした。

58回・毛利 剛
一度出席したいと思うのですが、千葉の片田舎からでは、72才の老人にとっては遠くで断念しています。

58回・大門啓治
元気でやっています。

59回・池田正文
何とか元気でやっております。栗林貞一君によりしく。

59回・藤原幸雄
先般の足裏のシビレは、温泉健康センターの薬草湯の入浴し過ぎです。何事も八分が肝要とやっと気付きました。

59回・花井 進
元気に過ごしております。総会で再会するのを楽しみにしています。

60回・石黒忠士
業務の都合で出席できません。御盛會をお祈りいたします。

60回・市村 哲
旅行スケジュールと同日のため欠席します。皆様によりしくお伝え下さい。

60回・宮田庄之助
11月14日の総会は欠席させていただきますので宜敷。

61回・佐藤敏夫
今回は欠席とさせていただきます。幹事の皆様いつもご苦労様です。ご盛會をお祈り申し上げます。

61回・小池 弘
1.体調不調。2.娘達が成人してから「無用の長物」と化したピアノの再生と老人ボケ防止の為のカルチャースクール(ピアノ)に通っています。61期生で同級生のピアノを達者に弾いた鍋谷毅君、小泉邦雄君を思い出します。両君は今どうしているかな?

61回・河井良三
同日他にどうしても出席せざるを得ない会合があり欠席します。

61回・長橋徳衛
総会には出席します。楽しみです。

61回・金子 章
いつもご尽力ありがとうございます。

62回・安食恒昭
年金生活です。

62回・佐藤勝彦
今回は失礼させていただきます。皆様方によりしくお伝え下さい。

62回・中山敏彦
両足神経失調病の為、歩行に困難。

63回・馬場政説
ご盛會を祈念申し上げます。併せて各位皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

64回・中島 仁
何か、手伝いますよ。

64回・木山 清
当日、会の上期監査の日程で都合つかず欠席いたします。

64回・小松 光
転居しました。

64回・中谷隆雄
64回生以前の皆様のご健康、65回生以降の皆様のご活躍、及び東京青山会のご発展をお祈り申し上げます。

64回・清水良男
故里で老母の介護の為、欠席させていただきます。同期の皆様によりしく御盛會を祈念しております。

64回・佐藤 章
ご案内をありがとうございました。新潟で母の三回忌に出席しますので残念ながら欠席を致します。

64回・田村邦彦
残念!皆さまによりしく。

65回・鈴木衛士
医薬品開発ベンチャーの仕事をやっております。今回は米国出張と重なり欠席します。

65回・横山修二
投函を失念致し、今頃の御連絡で恐縮です。今回は既定の日程により、失礼させて頂きたくご寛恕賜りますよう。尚、会報に掲載頂いた「一筆啓上」は同窓会を身近に感じさせてくれた企画です!!

65回・小林 亘
昨年6月30日で大学卒業後42年間のサラリーマン生活に別れを告げました。今は毎日のんびりと暮らしております。そのうち一度は会合に出たいと思っております。

65回・河路明夫
残念ながら旅行の予定あり欠席いたします。

66回・合田春美
喪中(長男事故死)につき、出席を遠慮させていただきます。

66回・原 勇
お陰様で元気に横浜まで通勤しています。何時もご案内を有難うございます。来年は出席したいと思っています。

66回・阿部三男
仕事から離れ、趣味の生活に入っています。前回の会報にも触れられていたことが、この情報が悪質な電話セールスに使われないことを祈ります。

67回・一柳 肇
今年は自宅住所も勤務先も変わりました。どこまで連絡させていたただいたか失念しましたので、念の為全て更新としました。

67回・大野隆治
今年も元気で皆さんに会うことを、楽しみにしています。

67回・佐々木邦夫
都合で参加できません。皆様によりしくお伝え下さい。

68回・村山 弘
サンデー毎日となり日程が詰まっている訳ではないのですが、不思議と他の用事と重なります。失礼します。

69回・山崎高明
11/14(金)18:00キャピトル東京にて「新潟県経済人の集まり」がある為、同窓会総会を欠席させていただきます。

69回・七里紀善
新潟へ帰省中で留守します。

70回・岩城忠之
会社を退社し、料理研究室を主催しています。

70回・野川晃一
代表取締役副社長を務めていた東日本フェリー(株)の会社更生手続開始申立に伴い(6月下旬)、同社を退社し、現在フリーの身です。

70回・加賀田則夫
9月末、日本飛行機(株)を定年退職しました。元気で。

71回・桂 弘
本年の6月30日で会社勤めを終了いたしました。なお当日は大学の同窓会と重なっておりますので、欠席します。

71回・太田 裕
翌15日長男が結婚するので、前夜家族で食事をする事になっています。悪しからず。

72回・小林正昭
会報で70期同期会の還暦会レポートを読みました。あの様な形では是非会ってみたいものです…。

74回・糟谷好邦
ボーイスカウト活動への奉仕で毎週忙しい週末を過ごしています。

74回・加門文隆
今夏、帰省の折、30年ぶりにサッカー部OB会に出席しました。優秀な若手OBが多く、部の伝統を感じました。

74回・菊池 隆

金・土と泊まりがけの仕事で欠席。日下部さんの黒のコート姿を見たかったです。

71回・柄沢 卓
いつもありがとうございます。後ろに立たれても良い位の滝沢先生の若さは驚きです。

75回・大越公平
会費納入者の氏名で多くのスペースをさくのは疑問に感じることもあります。でも会費納入を促進するために必要なものでしょうか。

75回・山崎信行
いつもお世話になっております。体調をくずしています。これからは健康に気をつけてがんばりたいとおもっております。

75回・曾我正男
今回は欠席です。申し訳ありません。

76回・田中邦直
久しぶり、家族揃って旅行をします。出席できず申し訳ありません。

76回・加藤正樹
7月に大阪から東京に戻りました。

76回・長北 学
連絡遅くなってすみません。DC10乗員部に商品提供いただきましてありがとうございます。皆よこんでいます。

77回・片山 等
会には出席できませんが、便りをいただくたびにとても懐かしく思います。帰省の折には、北方文化博物館新潟館を例年訪れております。

78回・吉澤哲彦
残念ながら日程調整がつかず欠席いたします。ご盛會を!!

78回・肥田博子
面談期間中なので、早く行けそうにありません。すみません。

80回・長 正子
4月13日よりよろしくお願いいたします。

82回・西山浩子
(新人歓迎会)前回より異動で横浜の鶴居に勤務しております。店舗、勤務者共買収した所、改善のため調査員としての任務です。一次会の終わりに間にあうかもしれませんが二次会だけでも参加するつもりです。

84回・太田淑子
がんばれアルビ!!

85回・杉林 亨
10月にアルビレックス新潟の試合を見に川崎の等々力競技場に出かけた際に、同級生と再会しました。アルビの応援をうまく使えば、同窓会活動の活性化に役立つと思います。

86回・吉井正行
大学の同窓会と重なったため参加できません。来年参加したいと思えます。

87回・南 正人
同期の田中隆氏より、せっかく会報で87回同期会の呼びかけをしていただいたのですが、法事のため出席できません。同窓会とも盛會を祈ります。

87回・田中 操
新潟高等学校のインターネットHPを見ました。新校舎の内側も紹介されており、21世紀の学習環境を疑似体験させていただきました。新しい時代を拓く人材を輩出されるよう、大いに期待しております。

88回・小竹 聡
会報を毎号楽しみにしております。同窓会総会の盛會を心より祈念しております。

89回・岩野野子
いつもお世話になっております。当日所用があり、残念ながら欠席致します。当日の盛會をお祈りいたします。

89回・小島裕樹
今回は海外出張の為、欠席と致します。宜しく申し上げます。

90回・田辺 文
いつもお知らせいただきましてありがとうございます。当日の御盛會をお祈り申し上げます。

92回・廣川 淳
北海道へ異動致しました。

97回・大村泰津子
今年、結婚し姓が変わりました。品田(旧姓 大村)となり、住所も変更致しましたので、御連絡申し上げます。

102回・池田哲郎
金融業務検定 法務上級、リスク管理検定、金融経済中級で全国1位で合格いたしました。

105回・小澤 藍
大学の都合で再び転居しました。暫く海外も含めた転居生活が続きます。住所変更のお手間は取り置き申し訳ありません。御盛會をお祈り致します。

105回・柳通こずえ
大変申し訳ありません。今回は仕事の休みがとれず泊まりの勤務となってしまったため、欠席させていただきます。いつも役立たずで本当にすみません。11月中旬頃に引越予定で、同窓会には出席するよう声をかけてみます。

106回・鈴木 完
修士論文執筆中につき、欠席させていただきます。

106回・大島典子
新潟に帰って来たので、次回より新潟の方の会報を送って下さい。東京へはなかなか行けませんので、よろしく申し上げます。

107回・五十嵐悠介
今回も出席するのが楽しみです。

110回・鈴木雄太
公認会計士試験に向けて勉強中です。御盛會をお祈りします。

110回・村山瑠璃子
結婚しました。

通っています。61期生で同級生のピアノを達者に弾いた鍋谷毅君、小泉邦雄君を思い出します。両君は今どうしているかな?

61回・河井良三
同日他にどうしても出席せざるを得ない会合があり欠席します。

61回・長橋徳衛
総会には出席します。楽しみです。

61回・金子 章
いつもご尽力ありがとうございます。

62回・安食恒昭
年金生活です。

62回・佐藤勝彦
今回は失礼させていただきます。皆様方によりしくお伝え下さい。

62回・中山敏彦
両足神経失調病の為、歩行に困難。

63回・馬場政説
ご盛會を祈念申し上げます。併せて各位皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

64回・中島 仁
何か、手伝いますよ。

64回・木山 清
当日、会の上期監査の日程で都合つかず欠席いたします。

64回・小松 光
転居しました。

64回・中谷隆雄
64回生以前の皆様のご健康、65回生以降の皆様のご活躍、及び東京青山会のご発展をお祈り申し上げます。

64回・清水良男
故里で老母の介護の為、欠席させていただきます。同期の皆様によりしく御盛會を祈念しております。

64回・佐藤 章
ご案内をありがとうございました。新潟で母の三回忌に出席しますので残念ながら欠席を致します。

64回・田村邦彦
残念!皆さまによりしく。

65回・鈴木衛士
医薬品開発ベンチャーの仕事をやっております。今回は米国出張と重なり欠席します。

65回・横山修二
投函を失念致し、今頃の御連絡で恐縮です。今回は既定の日程により、失礼させて頂きたくご寛恕賜りますよう。尚、会報に掲載頂いた「一筆啓上」は同窓会を身近に感じさせてくれた企画です!!

65回・小林 亘
昨年6月30日で大学卒業後42年間のサラリーマン生活に別れを告げました。今は毎日のんびりと暮らしております。そのうち一度は会合に出たいと思っております。

65回・河路明夫
残念ながら旅行の予定あり欠席いたします。

66回・合田春美
喪中(長男事故死)につき、出席を遠慮させていただきます。

66回・原 勇
お陰様で元気に横浜まで通勤しています。何時もご案内を有難うございます。来年は出席したいと思っています。

66回・阿部三男
仕事から離れ、趣味の生活に入っています。前回の会報にも触れられていたことが、この情報が悪質な電話セールスに使われないことを祈ります。

67回・一柳 肇
今年は自宅住所も勤務先も変わりました。どこまで連絡させていたただいたか失念しましたので、念の為全て更新としました。

67回・大野隆治
今年も元気で皆さんに会うことを、楽しみにしています。

67回・佐々木邦夫
都合で参加できません。皆様によりしくお伝え下さい。

68回・村山 弘
サンデー毎日となり日程が詰まっている訳ではないのですが、不思議と他の用事と重なります。失礼します。

69回・山崎高明
11/14(金)18:00キャピトル東京にて「新潟県経済人の集まり」がある為、同窓会総会を欠席させていただきます。

69回・七里紀善
新潟へ帰省中で留守します。

70回・岩城忠之
会社を退社し、料理研究室を主催しています。

70回・野川晃一
代表取締役副社長を務めていた東日本フェリー(株)の会社更生手続開始申立に伴い(6月下旬)、同社を退社し、現在フリーの身です。

70回・加賀田則夫
9月末、日本飛行機(株)を定年退職しました。元気で。

71回・桂 弘
本年の6月30日で会社勤めを終了いたしました。なお当日は大学の同窓会と重なっておりますので、欠席します。

71回・太田 裕
翌15日長男が結婚するので、前夜家族で食事をする事になっています。悪しからず。

72回・小林正昭
会報で70期同期会の還暦会レポートを読みました。あの様な形では是非会ってみたいものです…。

74回・糟谷好邦
ボーイスカウト活動への奉仕で毎週忙しい週末を過ごしています。

74回・加門文隆
今夏、帰省の折、30年ぶりにサッカー部OB会に出席しました。優秀な若手OBが多く、部の伝統を感じました。

74回・菊池 隆

平成16年 新人歓迎会 講演会のご案内

【日時】
平成16年6月18日(金)
p.m. 6:00 受付開始
p.m. 6:30 開会

【会費】
一般 8000円
女性 6000円
大学生 3000円
新人 2000円

【会場】
東京全日空ホテル
港区赤坂1-12-33
TEL. 03-3505-1111(代)

【新人歓迎会】 長谷川義明会長はじめ、旧3年の担任教諭がご参加予定です。
【講演会】 テーマ「世界をひろげる」講師：湯川 豊 (65回)
【懇親会】 着席ブッフェ



最寄り駅 【溜池山王駅・13番出口】銀座線・南北線
【六本木一丁目駅・3番出口】南北線
路線バス 【赤坂アークヒルズ前】下車 都01系統/新橋駅~渋谷駅

講師紹介

湯川 豊 (65回)

【略歴】
1964年慶應義塾大学文学部卒業。同年、
文藝春秋に入社。「文學界」編集長、取締役・
編集総局長、常務取締役等を経て
2003年1月退社。同年4月より東海大学文学
学部教授に就任。

平成15年度 (H14.10.1~H16.9.30) ・会費納入者一覧 H15.10.1~H16.4.30現在まで

32回 (1名)	47回 (3名)	笠原 仰二	朝比奈 和三	清野 誠二	片桐 欣哉	西野 武
曾我 英彦	朝日 翠	河路 渡	阿部 弘昭	高見 久義	片桐 啓三	花井 進
37回 (1名)	木村 和郎	北村 茂	荒井 宏	田代 九郎	斎藤 茂	藤原 幸雄
五百川 豊吉	斎藤 しょう太郎	坂野上 啓	飯島 昌弥	田村 量一	大門 啓治	水沢 邦弘
38回 (2名)	48回 (1名)	千葉 繁太	石崎 和雄	照木 仁	永井 克孝	山崎 徳左衛門
高野 政夫	田中 利男	丸山 猛	石田 智	永井 喜八郎	露谷 秀雄	山田 陽一
丸山 岩三	49回 (11名)	52回 (8名)	石原 国弘	中川 邦司	福田 満	山吉 一成
40回 (1名)	赤松 元敏	伊藤 昶	市川 千尋	中島 顕	細貝 実	若木 滋
小山 賢市	池田 純一	井上 菊雄	丸山 猛	中島 直彦	堀内 俊夫	60回 (26名)
1回 (3名)	井上 正	指宿 叡	浅田 稔	中村 晃	松井 慎平	阿部 梅太
五十嵐 富郎	岡本 治雄	今井 忠平	浅水 彪	中山 昭一	村山 保	石黒 忠士
伊藤 一雄	梶山 勝清	内山 二	阿部 和夫	庭山 六郎	毛利 剛	石田 章
星名 孝平	梶原 計佐	逢坂 七郎	斎藤 茂美	露谷 颯児	本永 祐嗣	市村 哲
42回 (2名)	木村 竜一	大谷 紳児	斎藤 泰五郎	藤田 和夫	山谷 皓栄	内山 真一
塩谷 正雄	仁保 武人	大野 利夫	坂井 保也	伏見 康	59回 (29名)	岡村 嘉志
東城 真佐男	濱 博世	鹿見島 昌雄	廣川 勲	堀藤 四郎	石山 芳昌	小川 秋実
43回 (5名)	広川 弘	加藤 勝則	宮原 昭三	増田 祐孝	板井 裕	金山 常吉
里見 義忠	本間 俊之	金子 昌次郎	53回 (7名)	松井 昭五	牛木 素吉郎	切貫 久司
滝沢 義雄	50回 (11名)	岩原 昭	岩原 昭	三上 昌	大島 洋一	小出 直彦
徳重 茂	一柳 俊夫	近 泰男	近 泰男	三上 正一	大山 久	小山 山
野澤 正男	岩澤 信夫	近藤 圭二	近藤 圭二	皆川 正男	岡田 久	近藤 純夫
本間 武	高橋 修	高田 鴻一	高田 鴻一	宮田 和明	園城 英二	島田 馨
44回 (3名)	塚野 俊彦	高田 鴻一	中島 常雄	宗村 禎三	笠井 駿	清水 悌作
斎藤 伸雄	敦賀 博	盛山 淑郎	盛山 淑郎	村松 茂樹	金巻 久	曾我 陽三
佐々木 俊男	寺田 秀夫	山田 豊	山田 豊	山口 和郎	栗林 貞一	高城 英雄
錦織 登美夫	時田 勇司	55回 (7名)	阿尻 威吾	山城 教成	栗林 洋	高橋 明男
45回 (1名)	中村 晴信	小島 直孝	斉藤 健一	山田 幸輝	河野 誠	千葉 潤
川村 明義	藤井 義良	小林 昭一	千葉 繁治	山田 陸男	小城 一廣	野村 保夫
46回 (3名)	村山 一	小松 重男	中村 正義	山中 紀行	茂泉 喜彦	長谷川 秀三
稲野 藤三郎	山田 英世	斉川 和平	中村 幹男	山本 幸正	渋谷 幸三	早武 正博
小熊 幸男	51回 (8名)	佐藤 宰喜	水澤 悠紀郎	57回 (2名)	高橋 晴夫	益子 恒徳
下 勇	石塚 誠也	残熊 謙一	村山 義夫	小野塚 彰	高橋 正利	丸山 敏視
富所 強哉	笠井 謙	塩見 戎三	56回 (77名)	茂田 井昇	高山 昇二郎	宮田 庄之助
		柴垣 寛	赤坂 長弥	58回 (16名)	長島 一郎	山崎 良一
		鈴木 正安		池田 成義	長橋 敏雄	山本 淳夫
		鈴木 寧		植村 末哉	納谷 喜郎	61回 (33名)

東京青山同窓会会報

赤堀 和郎	金川 博	木下 功	川田 昌人	中村 義一	太田 秀樹	早福 博史
朝日 明	白倉 至	佐々木 紀美子	菅原 一雄	西田 百合子	小野 真知子	田中 研一
安宅 久憲	関 守二	榎 精一郎	高橋 道子	西脇 雄一	川村 和共	登坂 和生
安藤 友憲	高橋 良行	佐藤 勅	田辺 豊	波多腰 明	斎藤 庫之丞	中嶋 浩一
石崎 敏夫	馬場 政説	塩谷 芳彦	土田 進	原 信一	篠田 敏朗	西山 信好
伊藤 英子	村山 弘義	鈴木 明光	野川 晃一	75回 (26名)	高井 博英	橋本 到
大橋 恒夫	山田 恵一	二宮 靖彦	山宮 士郎	青木 英明	肥田 博子	松下 正寿
金子 章	山田 益也	丹羽 真彦	吉川 正孝	有蘭 順子	向井 美夜子	森 大輔
河井 良三	若穂開 廣志	野水 宏樹	若井 正嗣	石塚 文雄	吉澤 哲彦	山田 高美
川崎 栄一	64回 (32名)	緑川 勲夫	渡部 美那実	伊藤 公	79回 (5名)	86回 (6名)
木村 政雄	青野 啓	室 由紀子	71回 (11名)	植村 由規夫	小田 章治	斎藤 健
草間 光俊	阿部 欣司	鷺頭 陽一	太田 裕	枝並 一夫	河 正子	田中 利直
小池 弘	植村 輛音	67回 (11名)	大場 菊代	大越 公平	斉藤 浩爾	広田 淳子
小林 元雄	太倉 孝男	石井 幹男	柄沢 卓	岡田 政文	西口 幸男	前田 智子
小山 達人	大田 健治	大野 隆治	小飯塚 豊	川上 滋	星名 健二	宮腰 重三郎
斉藤 伸昭	川口 徹	片山 忠一	小林 昭衛	小泉 慈行	80回 (4名)	宮井 正行
佐藤 敏夫	桑野 光雄	斉藤 久美子	斎藤 誠	小出 公平	位田 和彦	87回 (5名)
柴野 良一	斉木 幸彦	佐々木 邦夫	佐藤 禮子	後藤 輝雄	内田 博己	田口 操
杉山 由人	坂井 俊一	菅又 信	福井 明子	斎藤 章二	長 正子	田中 隆
高橋 駿	坂井 敬	高橋 三郎	藤本 亮介	佐藤 邦雄	小野 秀子	南 正人
田中 宣	坂本 昌弘	高橋 信夫	堀 清忠	曾我 正男	81回 (7名)	渡辺 桂
田中 忠夫	佐藤 茂司	寺井 宏	森田 琢夫	高橋 正	荒川 洋	渡辺 政城
田村 文男	椎名 睦郎	西 章	72回 (12名)	田辺 省一	五十嵐 和幸	88回 (3名)
時岡 泰	清水 裕子	皆川 学	石田 庄	千田 武	尾山 尚	今井 信一郎
長橋 徳衛	清水 良男	68回 (22名)	宇田川 由美	野崎 茂	上村 隆	小竹 聡
中村 正春	須田 嶺治	安達 賢司	小林 正昭	橋爪 博美	越野 昌芳	長谷川 隆
長谷川 耕一	高橋 正幸	安達 雅巳	斎藤 敏武	萬歳 信行	笹川 典男	89回 (2名)
長谷部 良雄	田才 邦彦	薄田 詔二	斎藤 俊正	藤縄 利勝	鱒淵 博	倉田 裕一
村岡 公夫	田伏 正樹	小野塚 芳雄	篠原 一博	本間 彰	82回 (8名)	小島 裕樹
村山 健	田巻 亮	上村 嶺子	高橋 忠	三富 修	清田 甚	90回 (8名)
谷田 部信	田村 康一	草野 佐	高橋 祐介	村山 勝	日下部 朋子	伊藤 暢聡
山田 充	津野 慶浩	熊谷 高武	太刀川 圭一	山崎 信行	小池 康男	木村 和人
吉川 芳生	中川 純子	近藤 和久	富田 由李	76回 (21名)	小亦 斉	斎藤 結花
62回 (24名)	中島 仁	斎藤 健弥	松永 宏五	青山 正裕	白倉 真澄	高橋 美和
安食 恒昭	西野 貢司	重野 康人	横堀 弘	岩橋 俊朗	西山 活子	田辺 文
池田 昌之	早川 周作	進藤 喜代子	73回 (8名)	岩原 俊介	宮村 伸一	徳永 泰器
石黒 恒	藤沢 靖郎	竹石 爾	阿部 裕	小田 高久	吉田 実	南 哲子
石田 寛	星 満	田辺 紀子	飯村 修	尾張 明美	83回 (8名)	横井 義彦
石本 悦夫	堀 健次	寺尾 正大	石川 等	加澤 正樹	浅間 芳朗	91回 (1名)
岩田 亮司	三國 六朗	長沼 誠二	田辺 研吉	久住 治	遠藤 光郎	酒井 祐司
植松 敬	山根 伸之	増子 藤男	田巻 裕	後藤 徳広	大沼 敏夫	95回 (5名)
内山 隆之	吉田 豊祐	村山 弘	中野 治	桜井 薫	佐野 栄二	橋田 篤英
大高 康夫	65回 (16名)	鎗居 秀禎	成田 常也	島 健介	杉本 信昭	97回 (1名)
熊谷 恒夫	浅田 和之	渡邊 公夫	両川 弘道	鈴木 茂夫	高山 佳郎	渡邊 英典
小池 健治	飯村 厚	渡辺 千艦	74回 (25名)	田中 邦直	山口 虎彦	101回 (1名)
小島 研也	五十嵐 徹	渡辺 泰彦	藍沢 幹人	太原 まゆみ	横山 修	塩野 淳也
佐藤 勝彦	河路 明夫	渡部 治子	池 一	田村 俊作	84回 (9名)	102回 (1名)
佐藤 武司	小林 亘	69回 (11名)	石井 拓男	長北 学	朝倉 仁樹	池田 哲郎
曾我 健	佐藤 貞夫	青木 利祐	石山 范	中谷 文夫	大須賀 郷子	103回 (1名)
高橋 健一	佐藤 武行	岩尾 信宏	和泉 潤	古川 恒一	太田 淑子	松原 有里枝
田子 元	柴澤 大五郎	小黒 朋弘	岩城 修平	細谷 洋一	加藤 雅一	106回 (1名)
田中 毅	鈴木 衛士	金子 雅典	上田 久則	森田 満	高津 孝	野本 裕史
中野 義一	関 英一郎	佐藤 孝靖	江口 則男	渡辺 拡	白川 直樹	107回 (1名)
中村 義一	本間 武彦	七里 紀善	大石 憲一	渡辺 雅夫	田崎 正巳	小橋川 嘉樹
藤原 琴子	水野 左敏	高木 敏之	大滝 均	77回 (9名)	星野 郁夫	111回 (1名)
村木 隆	山崎 耕一	外川 克之	小木 恵介	一色 由美子	星野 紹英	斎藤 仁美
本井 孝至	山本 和親	樋口 正臣	糟谷 好邦	片山 等	85回 (17名)	
山本 真弓	横山 修二	山崎 高明	加藤 直久	神戸 裕	荒井 裕子	
63回 (15名)	吉田 治彦	山田 建男	加藤 博	北村 一雄	今井 豊重	
浅野 康一	66回 (17名)	70回 (15名)	加門 文隆	斎藤 實	奥村 基	
安藤 巽	阿部 三男	池田 好正	菊池 隆	杉崎 真実子	久保田 浩一	
石渡 利男	石山 芳春	猪口 孝	笹川 雅之	角南 兼朗	小林 彰義	
笠原 恵	風間 聰一	岩城 忠之	佐藤 浩	長谷川 実	笹川 康雄	
柏 正平	川上 肇	魚谷 茜	高橋 保	山田 民夫	杉林 亨	
梶原 哲郎	菊池 重治郎	加賀田 則夫	高橋 信郎	78回 (9名)	関 史枝	

以上627名

感謝
 56回学年幹事宗
 村 嶺三氏のご尽
 力により、62名の
 会費をご入金いた
 だきました。
 (事務局拜)

■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてまたは指定銀行口座までお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)